

導師は「いくらわしがお話した、て戸田先生の  
 話にも居はなぬ。あの方はおつうの人でいふや  
 とすか分言われた。また、学会出身の僧侶  
 であつたはなぬともしわれた  
 また、学会の青年部にあつたか、一番うれしい  
 僧侶は「世だ」といふ言つておられた。

今の現下は おつうかを使うものには「世の  
 寺へ入んてせよ、「お前はオレに守つたから」と  
 か「おはししてはなぬ」とか、まるでヤクザの執分  
 みたいなてある。

今年の正月も現下の前に行くて「お前さんに  
 は何人集まつたか」などいふことしか聞かぬ  
 又自分の弟子を他寺へ出す時、「もし招い  
 が一悪牛はなぬといつては帰つてい」といつた  
 言ひ方がある。

小石川の現下の支院の所では妙観会か  
 いつもみんをこ集まつてはいる様な情報を入ん  
 学会の思はせ、対策を協成にしている。なかば  
 あるにか、絆りの事務所である。